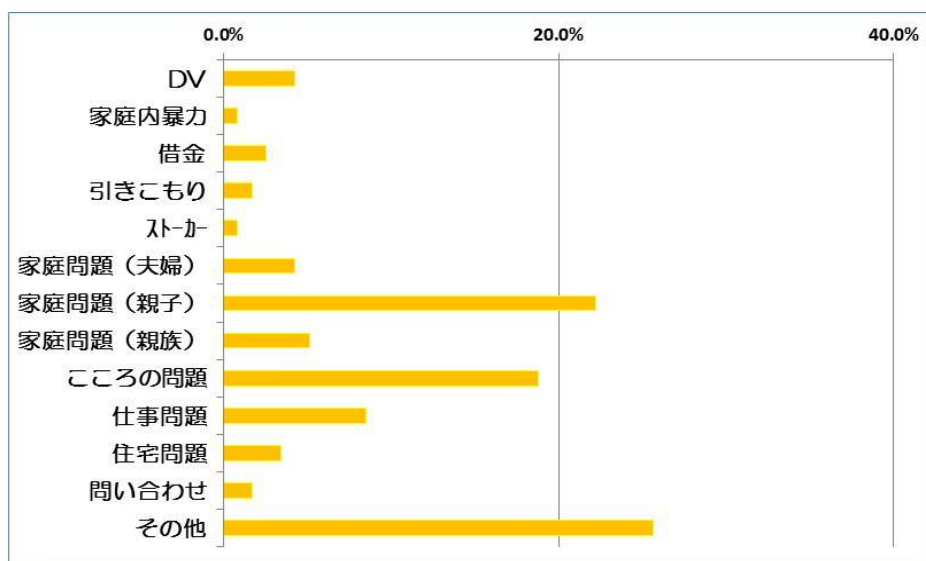


【2014年8月 相談レポート】～8月は「親子問題」について～



8月に最も多かった相談内容は「家族問題（親子）」です。特に深刻なケースとして、両親と一人っ子である成人した息子の問題がありました。長年、実家にひきこもり続けてきた一人息子の男性（28才）からの、「両親の過干渉で一人ではどうにもできないほど困っている」という相談でした。

この男性は、未成年の頃だけでなく20歳を過ぎてからも、交遊関係や職業選択に口を出され、親の許可がなければ家から外出できず、予定の帰宅時刻を5分でも過ぎると1時間以上説教される、という「箱入り息子」のような生活が続いていたといいます。

「年齢的にも今の人生を変えたい。ひとり立ちしたい」と考えた男性は、ある日勇気を出して両親に対し率直な思いを打ち明けましたが、両親はろくに話も聞かず激怒する一方で、話し合いは平行線のまま終わってしまいました。途方に暮れた男性はある日そっと家を出て、学生の頃の友人宅へ避難させてもらい、しばらくはそこで生活していました。

一方両親は息子に対する執着心と怒りを執拗に持ったまま、探偵に依頼し息子の身辺を調べ上げ、突然この友人宅に押し付けてきました。男性は追い詰められ、藁をもすがる思いで歌舞伎町の駆け込み寺にやってきました。

駆け込み寺で何度か面談した後、知人の紹介で仕事が決まり、この男性は職場の寮で単身生活を送れることになりました。「いつかは両親もわかってくれる」と、男性は自立への道を歩んでいます。

こんなふうに親が子を私物化し、過干渉や過保護を続け、自立の芽を摘んでしまうようなご相談が増えていきます。子は親のペットではありません。

～悩みごとや困りごとがありましたら公益社団法人日本駆け込み寺へ～

ご相談は、以下の電話番号からどうぞ。

◆新宿歌舞伎町駆け込み寺:03-5291-5720 ◆仙台国分町駆け込み寺:022-395-7740